

（第2期）茨城県における基本計画の概要

計画のポイント

本県の有するものづくり産業や研究・開発拠点の集積、整備が進む広域交通ネットワークなどを最大限に活用しながら、本県産業を魅力的で多様性のあるものとし、その結果、県全域における地域経済の好循環を生み出すことを目的とする。

促進区域

茨城県全域（水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町）

経済的効果の目標

促進区域で6,228百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～⑨のいずれか）】

- ①県内の輸送用機械・産業機械、医療・介護、食品等の産業集積を活用した成長ものづくり分野
- ②県内の国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人筑波大学、民間研究所等が保有するデジタルデータ・ロボット・AI等の技術を活用したデジタル分野
- ③研究機関等が保有する原子力科学等の最先端技術を活用した成長ものづくり分野
- ④県内に集積する研究機関の研究成果を活用したサービス産業分野
- ⑤野菜や果樹等全国トップクラスの産出額を誇る農林水産物を活用した農林水産分野
- ⑥茨城県上海事務所等の海外拠点や独立行政法人日本貿易振興機構茨城貿易情報センター等の知見を活用した海外展開分野
- ⑦4本の高速道路網及び2つの重要港湾、空港等陸海空の交通・物流インフラを活用した物流関連分野
- ⑧筑波山、霞ヶ浦、海岸線等の自然景観をはじめとした豊かな観光資源を活用した観光分野
- ⑨新エネルギー関連産業や研究機関等の技術を活用した環境・エネルギー関連産業分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：5,917万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：5%増加
- 雇用者数：2.5%増加
- 売上：5%増加
- 雇用者給与等支給額：6.5%増加

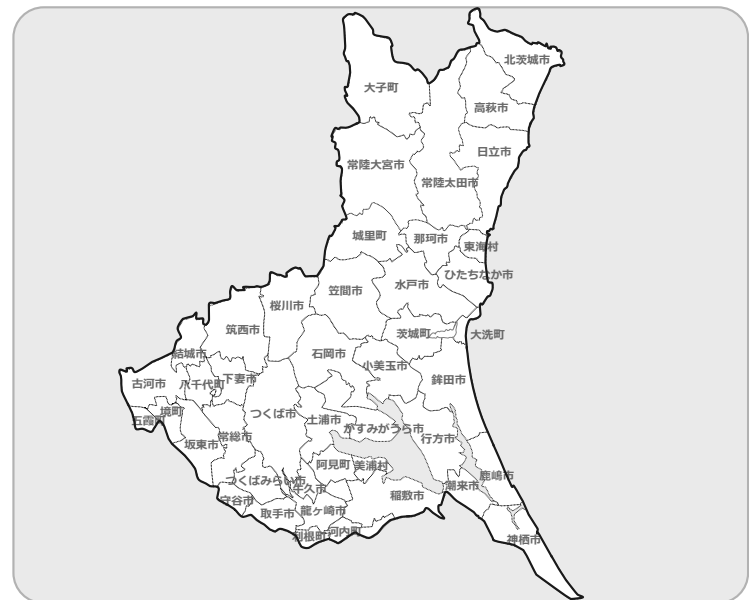
制度・事業環境の整備

- ・地域経済牽引事業に対するデジタル田園都市国家構想交付金の活用等
- ・スタートアップや人材育成・確保、賃上げ促進、GX・DXの促進、事業承継等への支援

地域経済牽引支援機関

茨城県産業技術イノベーションセンター、（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構、
（株）つくば研究支援センター、（株）ひたちなかテクノセンター、（公財）日立地区産業支援センター、
茨城県農業総合センター、（公社）茨城県農林振興公社、（一社）茨城県観光物産協会

《促進區域圖》



《大強度陽子加速器施設
(J-PARC)、霞ヶ浦と筑波山、
野菜や果樹等の農林水産物》



計画期間

本計画の計画期間は、計画同意の日から令和10年度末まで